

ベバシズマブ（アバスチン[®]）・ラムシルマブ（サイラムザ[®]）



点滴治療中の患者さんへ



ベバシズマブ・ラムシルマブは、がんに栄養を送る血管に作用し、がんの成長を妨げる働きがあります。体の中の正常な血管にも影響を及ぼすため、治療を行うと血圧が高くなる場合があります。

治療を行っている間は病院や自宅で定期的に血圧を測ることが大切です。

血圧が高くなってしまうと

心臓は、血液を高い圧力で全身へ送りだすため、多くのエネルギーを必要とし、常に大きな負担がかかっています。血管にも負担がかかり、動脈硬化（血管が硬くなる、内側が狭くなる）につながります。動脈硬化になると、血管が詰まりやすくなり、心筋梗塞や脳梗塞が起こりやすくなります。

血圧が高い場合は、主治医の判断で血圧を下げる薬を服用し、血圧をコントロールしながら、治療を続けます。自己判断で薬の服用を中止しないでください。



自宅で血圧を定期的に測定し、**頭痛・めまい・肩こり**などの症状が現れた場合は、早めに主治医にご相談ください。



この他にも、蛋白尿（尿にたんぱくが混ざる）や、傷の治りが遅くなる副作用があります

<蛋白尿>

蛋白尿は、尿検査で確認します。必要に応じて主治医が尿検査を行います。

<傷の治りが遅くなる>

ベバシズマブ・ラムシルマブの治療中は傷の治りが遅くなる場合があります。

➡手術や抜歯のほか、その他の処置を予定している場合も、事前に主治医へ相談してください



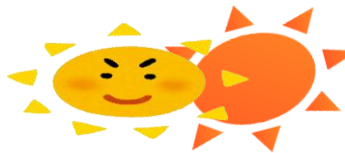
血圧測定をして、自分の血圧値を知りましょう



血圧は測定する時間や体調、測定時の状況によって変化します。

緊張やイライラ、不安、運動をした後など一時的に血圧が高くなる時があります。血圧が変動するたびに一喜一憂するのではなく、継続して測定し、ご自身の普段の血圧を知ることが大切です。

リラックスした状態で、いつも同じ条件で測定した血圧が、参考になる値になります。



◆ 血圧測定のポイント ◆



○ 1日2度（朝・晩）できれば**毎日同じ時間に測定しましょう**

朝 起床後1時間以内（排尿後、朝食前、薬を飲む前）

晩 就寝前

○ 静かな落ち着いた環境で、1～2分間安静にし
リラックスしてから血圧を測定しましょう

○ 可能であれば1度の測定に**2回測定しましょう**

○ 測る腕と心臓の高さを同じくらいになるようにして、
なるべく、腕帯は素肌に巻いて測定しましょう

○ 測定中は、**会話をしないようにしましょう**

○ 測定した血圧は、**記録しましょう**



☆血圧手帳をお配りしています☆

測定した血圧は「血圧手帳」に記入し、

受診時に確認できるようご持参ください